

令和2年度 第1回生涯学習センター運営審議会 会議録

- 1 開催日時 令和2年7月17日（金） 9時30分～10時30分
- 2 開催場所 宇都宮市教育センター1階コミュニティホール
- 3 出席委員 19名
丸山委員長，西田副委員長，待山委員，熊倉委員，小松委員，石嶋委員，吉澤委員，
鈴木委員，坂本委員，池田委員，半田委員，斎藤委員，阿久津委員，稲葉委員，谷内委
員，伊藤委員，栗原委員，塩野谷委員，中山委員
- 4 会議の公開・非公開の別 公開
- 5 傍聴者 0名
- 6 内 容
 - ・令和2年度生涯学習センター運営審議会の審議内容について
 - ・議事
 - (1) 宇都宮市民大学運営協議会への委員の推薦について
 - (2) 令和元年度生涯学習センター事業運営の評価について

7 発言の要旨

事務局	【令和2年度生涯学習センター運営審議会の審議内容について説明】
丸山委員長	初めての方もいらっしゃいますので，丸山と申します。よろしくお願ひいたします。 お忙しいなか，そしてこのコロナ禍のなかご出席いただきまして，ありがとうございます。 それからこちら，副委員長の作新学院大学女子短期大学部の西田教授です。
西田副委員長	よろしくお願ひいたします。
丸山委員長	それでは，議事を進めて参りたいと思います。 本日は時間が，コロナ禍ということもありまして1時間ということですので， なかなか議論も深まらないかもしれませんが，みなさまよろしくご協力をお願い したいと思います。 まず，議事（1）「宇都宮市民大学運営協議会への委員の推薦等について」という ことです。事務局から説明をお願いします。
事務局	【資料について説明】

丸山委員長 はい、ありがとうございました。ただ今、事務局から説明がありましたとおり、「宇都宮市民大学運営協議会」の委員をこちらから選ぶということです。委員の選出について、みなさまからのご意見がございましたらお願いいたします。特にないようであれば、事務局からご提案いただこうと思いますが、みなさまいかがでしょうか。

全員 異議なし。

丸山委員長 では、事務局案をお願いします。

事務局 **【事務局より待山委員を提案】**

丸山委員長 はい。ただ今の事務局から候補者といたしまして、待山委員のお名前が挙げられましたが、皆さまいかがでしょうか。

全員 異議なし

丸山委員長 では、異議なしということで決定したいと思います。それでは事務局案に従いまして、決定したいと思います。待山委員、よろしく願いいたします。
それでは次に、議事の2の「令和元年度生涯学習センター事業運営の評価について」ということでございます。事務局からご説明をお願いいたします。

事務局 **【資料について説明】**

丸山委員長 ご説明ありがとうございました。昨年度の内容や、今年度のコロナを踏まえての現状を、今日出席していただいた所長さんたちからよく説明していただけたかと思えます。皆さまからただいまの説明についてご意見ご質問がございましたら、お願いしたいと思います。

坂本委員 瑞穂野の坂本と申します。
学習相談について、主なものを教えてください。

事務局 学習相談につきまして主なものとしたしましては、参考資料の表を見ていただくとおり、簡易相談が多くなっております。簡易相談というのは講座の案内や施設のこと等をカウントしているものでございます。学習相談は、基本的には団体情報が多いと思えます。

坂本委員 わかりました。

丸山委員長 よろしいでしょうか。ほかになにかございますか。

西田副委員長

はい。まず、このコロナ禍が収まらないなかで、注意を払って工夫を重ねながら、市民の学びの場を提供していただいているというセンターからのご報告を受けまして、これは評価したいと思いました。

それから、事業全体の評価で、昨年度「防災」や「働く世代の課題解決」が多く行われたということですが、特に「防災」に関して注目が集まった。これも私自身、よかったと思います。おそらく、ハザードマップなどを見て、普段の生活のなかで不安を感じている市民の方に利用していただければ、非常に役立つ講座なのではないかと思いました。

それから、オンライン講座がもう始まっているということで、実は大学もオンラインの授業をやっておりまして、ご苦労もあるのかと思いますが、逆にオンラインによって参加者同士のつながりなどに意外な効果も期待できるのではないかと思います。特に若い世代へのアピールに役立つのではないかと思います。ただ、大学でやっていて感じることは、個人でできることと、組織としてセキュリティを確保しながらやることはやはり違います。それをこの審議会でもぜひ共通認識を持ちたいです。そのようななかで、セキュリティ上のハードルはあると思いますが、これは受講者の年齢層を広げるという意味で、非常に良いツールになっていくと思います。ですからぜひ今年度のコロナ禍によってだけでなく、2年3年という展望を持って、いろんなシステムを改善しながら広げていくきっかけにいただければいいと非常に感じました。以上です。

丸山委員長

はい、ありがとうございました。

ほかになにかございますか。時間は限られているのですが、ぜひ。

池田委員

城山の池田と申します。

講座の対応を聞いていますと、今年度はみんなコロナの影響でほとんど活動は停止していた。これからの各学習センターでの各事業の取組について、自分の地区からはコロナの患者を出さないような工夫をして臨んでいると思いますが、取扱いあるいは開催事項等について、宇都宮市の方からセンターの方に統一した開催事項等を決定した方がよいのではないのでしょうか。今年度ではケリがつかないようなコロナ対策だろうと思いますので、ぜひ早めにいただければ、各センターは動きやすいと思いますので、お伝えをしたいと思います。

丸山委員長

はい、ありがとうございました。

事務局から何かいまの点についてございませんか。

事務局

全部で生涯学習センターは18か所ございまして、月に1回すべての所長に集まっていたり、月に1回所長会議というものを開いております。その場において、お互いに所長と私たち事務局で意見交換しながら、これまでの講座・事業を進めて参りました。この考え方をこれからも持ちながら、よりよいものをたくさん作って

いけるようにセンターと力を合わせてやっていきたいと思っております。引き続きよろしくお願いいたします。

丸山委員長

はい、ありがとうございます。ほかになにかございますか。

小松委員

西の小松と申します。コロナの関係が社会的に蔓延している状況のなかで、我々もこれからの生活環境の変化を、センターごとに検討する時期にきているのではないかと考えます。以上です。

丸山委員長

はい、ありがとうございます。そのあたりもよろしくお願いいたします。

塩野谷委員

塩野谷です。オンライン授業などのある時代になったとは思いますが、学校でオンラインを一本化しようとしてもなかなかできていない。また、挑戦している学校の生徒さんたちも、学校が始まると、みんなに会えてよかったというのがどのお子さんの感想だと思います。やはり、この生涯学習という視点から、もちろんオンラインによって発信する、受け取るという、つながりが大事なことはありますが、そういうことではないところに生涯学習の意味があると思っています。そういうところを今後どうしていくのか、あるいはどうなっていくのか、やはりそこはあきらめずになにか違う意味で挑戦していかなければならないのではないかと思います。オンラインだけで解決できる問題ではない。特に生涯学習、教育においてはそういう部分が多いのではないかなと思っています。それだけで片づけられては寂しいと思います。

丸山委員長

どうもありがとうございます。

人と会う意味というのでしょうか。私も放送大学でスクーリングを担当して、放送大学だから全然問題ないということではなく、やはり2割弱くらいのスクーリングというのを学生が非常に楽しみにしているというところがあります。そのあたりもこれから少しずつ明らかになっていくのではないかと思います。こういった、時代が急激に変化するに際して、学校教育・生涯学習それぞれが先を見据えて変化していかなくてはいけないということを感じております。

では時間も来ましたので、今回は非常に短時間で、もっとお話ししたいという委員の方もいらっしゃると思いますが、以上とさせていただきます。

では、本日予定しました議事はすべて終了いたしましたので、委員のみなさまどうもご協力ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお願いします。

事務局

はい、皆様ありがとうございました。

事務局から次回の開催予定につきまして、事務連絡を申し上げます。

【配布物及び次回の会議日程についての説明】

事務局からの連絡は以上になります。本日は委員の皆様，お時間ありがとうございました。以上を持ちまして令和2年度第1回宇都宮市生涯学習センター運営審議会を閉会いたします。本日はありがとうございました。

事務局

ありがとうございました。